

日本ニュース

シネスコ版

道新 16/8/1 タラバガ=漢 18/3/31 (積巻) 22/2 (本編) 27/2 (追加)

道新 16/2/66 本編同
No. 4 3 1 37.4.20

新復巻 16/9/4
甲口新 16/10/7 元島打線 裂 対口 鉄戦 - 203次 (本編) 27/2 (追加)

一、日本の経済

一九六二年四月

四月はじめ、まだ肌寒い東京で、世界のグラママーを集めてきらびやかな水着ショウが行われ、四方の嘆声を集めました。ところが一方では繊維産業の某大手メーカーが不景気を理由に工場閉鎖を決定するなど、暗の話題が同じ産業の中からでてきます。

これはいったいどうしたことなのでしょう。この数年来、日本の産業界では死にもの狂いの設備投資競争が続けられて来ました。これは今年の十月から実施される貿易自由化に備えて行なわれたもの。自由化されれば日本の産業界より格段の生産力をもった外国大企業と競争しなければならぬので経営者たちは真剣そのものです。

ところが各企業がテンデに新工場の建設競争したので、すから工場が動き出したときには当然のことながら生産過剰傾向となり、つぶれる会社まで出て来たのです。これでは外国企業と競争する前に国内でつぶしあいをしかねないあります。こうした事態に藤山経済企画庁長官は、責任の一部は池田さんの高度成長政策にありと政府内部で内輪もめまではじまりました。大きな危機を迎えた日本経済界を探訪してみました。

一、私のおヒップを見て下さい

—東京—

コンテストばやりの昨今、これはまた風変わりなおヒップのコンクールがこのほど東京でひらかれました。これはあるベトナム会社の企画で、美しいヒップラインを造ってもらうのが目的とか。いれかわりたちかわりの御披露に、会場はピンクムードでむせかえています。こうして二十人が予選を通過、来月早々決選に進むことになりました。

アイモ風土記

水郷の素顔

—観光シーズンのかけに

観光名所千葉県佐原の水郷は、歌で知られた娘船頭さんなど情緒あふれる風物詩で、観光客の人気を集めています。

しかし、利根川と支流に囲まれ、無数の水路で刻まれた水郷は、かつて、水害の常習地でした。苦難な水害との斗いは、やがて、この地方を全国屈指の早稲米地帯にしたのです。

そして、観光地水郷の代名詞にさえなった娘船頭さんは、農閑期の現金収入を求める農家のアルバイト。農船ぐるみ川向うの潮来に備われ客引きをしては、漕いで廻るのです。

一回三百円でも手取りは半分だけ、娘船頭としてはやされる彼女らは、それで家計をおぎない、観光客を楽しませる十二橋は、低湿地帯農民のきびしい生活の場であるのです。

bb4 302x 107x 247x